

## 第 28 回 運転管理検討会 議事録

1. 開催日時：平成 22 年 11 月 17 日（水）13：30～17：00

2. 開催場所：東京電力（株）本店 7 階 原子力運営管理部会議室

3. 参加者 （順不同，敬称略）

委員：幅野・大和田（東京電力），三屋（関西電力）坂元・久保田（日本原子力技術協会），市川（電源開発），大畠（北陸電力），古舘（東北電力），斉藤（北海道電力），名知（日本原電），宮北（BTC），睦浦（中国電力）（計 12 名）

代理出席者：井川（中部電力・嶋本代理），稲富（九州電力・河津代理）

見勢（四国電力・村上代理）（計 3 名）

記録：大和田（東京電力）

4. 配付資料

資料 28-1 運転管理検討会委員名簿

資料 28-2 第 27 回運転管理検討会 議事録（案）

資料 28-3 JEAC4804-201X「原子力発電所運転責任者の判定に係る規程」改訂に関する公衆審査（11/16 時点）意見集約表

参考資料 1 第 20 回運転・保守分科会議事録（案）

参考資料 2 第 38 回原子力規格委員会議事録（案）

参考資料 3 運転段階の原子炉施設と廃止措置段階の原子炉施設の期待度評価

5. 議事

（1）会議定足数の確認について

検討会主査により，委員総数 20 名に対して本日の出席委員数は，代理委員も含めて 15 名で，検討会決議に必要な委員総数の 2/3 以上の出席が確認された。

（2）代理参加者及びオブザーバ参加者の承認について

上記，代理出席者 3 名の会議参加について，検討会主査から承認された。また，検討会委員の変更を紹介した。（東京電力 富田委員 退任 大和田）

（3）前回議事録（案）の承認

事務局より，資料 28-2 に基づき，前回の検討会議事録（案）が紹介され，承認された。

（4）第 20 回運転・保守分科会議事録（案）及び第 38 回原子力規格委員会議事録（案）の紹介

事務局より，参考資料 1,2 に基づき，第 20 回運転・保守分科会議事録（案）及び第 38 回原子力規格委員会議事録（案）が紹介された。

幅野主査より，JEAC4804「原子力発電所運転責任者の判定に係る規程」改定案に対す

る書面投票（２次投票）を実施し、反対票が２件あったが、規約により可決された（２次投票では反対意見付き反対があっても３分の２以上の賛成があれば可決される）こと、および１１月１５日から公衆審査に移行したことについて補足された。（公衆審査期間はH23年１月１５日まで）

幅野主査による議事録の紹介に関する各委員の主なコメントは以下の通り。

- a. 参考資料-1 第20回運転・保守分科会議事録（案）P-3（7）1）の記載にある「構造分科会」は「運転・保守分科会」ではないか。  
事務局に連絡し訂正をお願いする。

（５）JEAC4804改訂案に対するパブリックコメント状況の確認について

幅野主査より、資料28-3 JEAC4804-201X「原子力発電所運転責任者の判定に係る規程」改訂に関する公衆審査（11/16時点）意見集約表に基づき、11月15日から公衆審査に移行したこと、および11月16日時点で規格委員会の２次投票で提出された反対意見に準ずるような意見が２件提出されていること、ならびにその内容について報告された。

また、中部電力（株）が国と協議を行っている「浜岡原子力発電所１，２号機（廃止措置段階の原子炉施設）における運転責任者合否判定基準」について、井川代理委員より国との協議に至った経緯と現状について紹介された。

紹介された内容は以下の通り。

- ・平成21年3月17日に経済産業大臣の確認を頂いている運転責任者に係る合否判定業務等に関する規程について、浜岡原子力発電所１，２号機における運転経験期間に乗じる係数の考え方について説明を求められた。

中部電力（株）としては、JEAC4804-2008に記載のある実用炉の運転業務と同等の「1.0」として説明を行ったが、原子力安全・保安院としては、廃止措置段階の原子炉施設における運転経験係数を運転段階の原子炉施設と同等の「1.0」としていることについて、運転責任者に期待される業務内容から運転段階の原子炉施設と同等とは考えられないため、改めて運転経験係数を検討するよう依頼された。

この依頼に基づき、中部電力（株）として廃止措置段階の原子炉施設における運転経験係数について検討し、その結果を次の通り保安院に報告した。

運転責任者に期待される業務の期待度を設定し、実用炉の運転業務を1.0とした場合、実用炉の運転業務と廃止措置段階の原子炉施設における運転業務を比較すると、廃止措置段階の原子炉施設における運転責任者の運転経験係数は「0.8」が適当である。

上記、公衆審査で提出されている意見および中部電力（株）の「浜岡原子力発電所１，２号機（廃止措置段階の原子炉施設）における運転責任者合否判定基準」の国との協議状況および中部電力（株）の検討結果について議論し、各委員から出された主なコメントは以下の通り。

- a. 公衆審査において規格委員会の２次投票で提出された反対意見に準ずるような意見が２件提出されていること、および中部電力（株）の廃止措置段階の原子炉施設にお

ける運転責任者の運転経験係数について検討するに至った経緯を考えた場合，運転管理検討会としても，この問題を検討し JEAC へ反映した方が良いと考える。

JEAC への反映および中部電力(株)の廃止措置段階の原子炉施設の運転経験係数の検討結果について各委員の賛同を得たため，運転管理検討会のパブリックコメント対応案として，運転・保守分科会および規格委員会の審議に諮ることとする。

- b . 運転段階の原子炉施設と廃止措置段階の原子炉施設の期待度の評価内容については，中部電力のスタンスで検討した結果を運転管理検討会マターの資料とするには修正が必要ではないか。

運転管理検討会スタンスの資料を作成する。

(参考資料 3 運転段階の原子炉施設と廃止措置段階の原子炉施設の期待度評価)

- c . 今回の運転管理検討会での決定事項については，12月の原子力規格委員会に報告することとする。(中間報告)
- d . 運転・保守分科会に提出する以下の資料を作成する。
- ・ 公衆審査に対する対応表
  - ・ 運転段階の原子炉施設と廃止措置段階の原子炉施設の期待度評価表
  - ・ 本文および解説 32 の記載に関する新旧比較表
  - ・ 公衆審査意見の対応を盛り込んだ JEAC4804-201X (見消し無し)
- e . 規程制定までの今後のスケジュール
- ・ 公衆審査 : 平成 22 年 11 月 15 日 ~ 平成 23 年 1 月 15 日
  - ・ 運転・保守分科会への中間報告 : 平成 22 年 11 月 24 日 13:30 ~ (航空会館)
  - ・ 原子力規格委員会への中間報告 : 平成 22 年 12 月 15 日
  - ・ 運転管理検討会 : 平成 23 年 1 月 19 日 13:30 ~ (日本電気協会会議室予定)
  - ・ 運転・保守分科会での書面投票 : 平成 23 年 2 月下旬
  - ・ 原子力規格委員会での書面投票 : 平成 23 年 3 月
  - ・ 規程の制定 : 平成 23 年 4 月

以 上